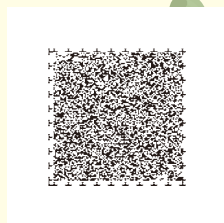




第6期

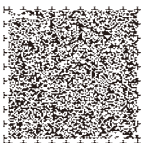
福岡市障がい福祉計画

令和3年8月
福岡市



音声コードについて

この計画書には、より多くの方に情報を提供するための音声コード Uni-Voice を付けています。専用アプリをインストールしたスマートフォンを使って、計画の内容を音声で聞くことができます。



はじめに

昨年からの新型コロナウイルス感染症を契機として、感染症や災害発生時であっても障がいのある方やその家族の生活に障がい福祉サービスは必要不可欠なものであり、安定的・継続的にサービスが提供されることの重要性が再認識されました。

また、障がいの種別に関わらず、障がいのある人が必要とするサービスを利用できるようにした「障害者自立支援法」の施行から15年が経過し、わが国の福祉サービス等の利用者は約120万人、国の予算額は約1.6兆円とそれぞれ約3倍に増加するなど障がい児・者への支援は年々拡充しています。

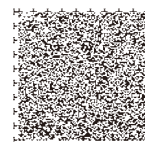
福岡市においても人口に対する障がい者の出現率は上昇傾向にあり、身体障害者手帳の所持者のうち高齢者が約70%を占めるなど高齢化が進んでいます。また、障がいのある人を支える家族の高齢化も進んでおり、「親なき後」の生活を見据えた総合的な支援が求められています。

福岡市では、人生100年時代に向けて、障がいの有無に関わらず、誰もが住み慣れた地域で、心身ともに健康で自分らしく暮らせる社会を実現する「福岡100」に産官学のオール福岡で取り組んでいます。

この度策定した「第6期福岡市障がい福祉計画」では、必要な支援を受けながら自らの能力を最大限に発揮し、地域や家庭でいきいきと暮らすための施策を充実させるとともに、ハード・ソフト両面に調和のとれた健康福祉のまちづくりを目指し、「人」を大切にし、誰もが夢を持ち、活躍できる「みんながやさしいユニバーサル都市・福岡」を実現してまいります。

最後に、福岡市保健福祉審議会の委員の皆さまをはじめ、本計画の策定にあたり、ご尽力、ご協力をいただきました皆さまに心から感謝を申し上げます。

令和3年8月
福岡市長 高島 宗一郎



目 次

第1 計画の概要

- 1 計画策定の趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 計画の位置づけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 3 計画の対象者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 4 計画の期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

第2 障がい保健福祉施策をめぐる現状

- 1 障がい者の現状・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 2 障がい保健福祉施策関連事業費の現状・・・・・・・・・・・・・・ 9

第3 障がい福祉サービス等の数値目標、実績及び見込量

- 1 本項目の内容と目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- 2 障がい福祉サービス等に関する数値目標・・・・・・・・・・・・・・ 10
- 3 障がい福祉サービスに関する種類ごとの見込量・・・・・・・・・・ 21
- 4 地域生活支援事業に関する種類ごとの見込量・・・・・・・・・・ 31

第4 計画の推進体制

- 1 計画の進行管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 43
- 2 国・県への要望・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 44
- 3 福岡市障がい者等地域生活支援協議会との連携・・・・・・・・・・ 44

第5 資料編

- 1 福岡市障がい福祉計画の策定体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45
- 2 計画策定の経緯・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45
- 3 福岡市保健福祉審議会障がい者保健福祉専門分科会委員名簿・・ 46
- 4 福岡市保健福祉審議会諮問及び答申・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47
- 5 市民意見募集・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49

